

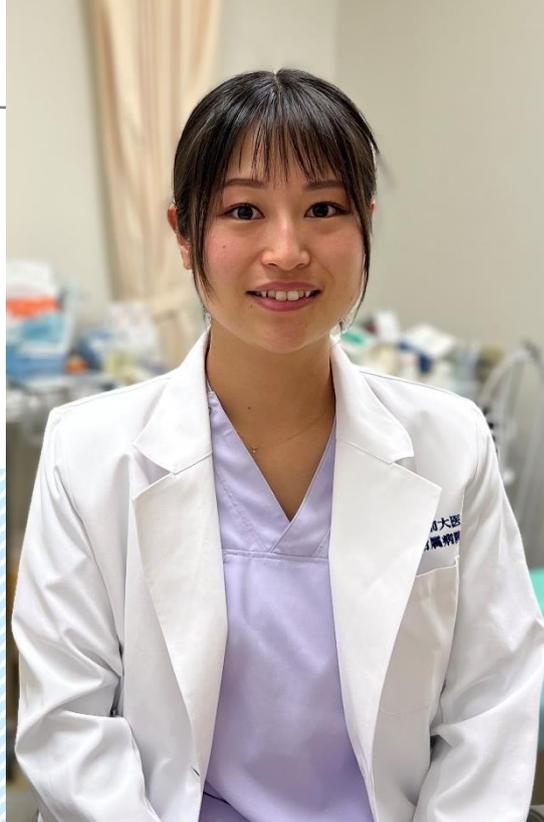
当病院で活動されているドクターに、各専門分野での取り組みや、医療への想いを語っていただきます。

整形外科 医員

vol.18

市沢 歩美 いちさわ あゆみ 先生

専門：整形外科 得意分野：四肢外傷治療



——先生は八戸市のご出身とうかがいました。これまでのご経歴をお話いただけますか？

皆さま初めまして。この度10月より十和田市立中央病院に異動となりました整形外科の市沢歩美です。よろしく申し上げます。私は生まれてから高校卒業まで八戸市で育ちました。弘前大学医学部に進学し、大学卒業後は青森市民病院で2年間学ばせていただきました。生粋の青森県民です。

——十和田市に住んでまだ短い間と思いますが、どんな印象をお持ちですか？

八戸出身であり、小さい頃は毎年古牧温泉や十和田荘に宿泊しておりました。大学に入学してからは弘前や青森から八戸に向かう際に必ず通っていたこともあり、十和田は親しみのある地域でした。また十和田で働くようになって、『市沢』という苗字が十和田市内にもいらっしゃることを知りました。自分で希少な苗字だと思っておりましたので尚更親近感が湧きました。



——お医者さんになるきっかけは何でしょうか？また、整形外科医を志した理由などもお教えてください。

きっかけは学生時代に医師という職業ほど、勉強すればした分だけ人の役に立つことができる職業はないと気付いたことでしょうか。はっきりしたきっかけはありません。また私は学生時代の計13年間ソフトテニ

スに打ち込んできました。そのテニス人生の中で怪我をすることが多く、整形外科の先生やリハビリの先生には何度もお世話になりました。中学生の頃の夢は理学療法士だったのを覚えております。やはりスポーツを行う上で、怪我というのは切っても切れないものだと思います。その中でもスポーツに真剣に取り組む人たちの心の支えになり、気持ちに寄り添った予防、治療が行える医師になれたらと思ったのが整形外科を志した理由です。

——最近、研究されていることや勉強されていることは何でしょうか？

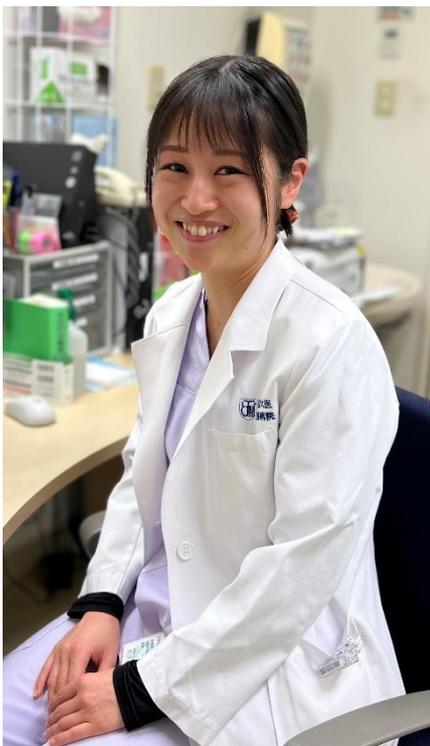
整形外科は、骨・筋肉・靭帯の専門といったイメージがあるでしょうか。

私は整形外科を学び始めたばかりですが、整形外科は簡単に言えば内臓以外の全身すべての専門であると感じております。手を切った人から、転んで骨を折った人、膝痛や腰痛、手足のしびれによって歩くのに困っている人…また子供からおじいちゃんおばあちゃんまで、色んなことで困っている人がたくさんいます。今はその出会った1人1人に向き合っていくことに全力を注いでおります。



——学生時代打ち込んだことはありますか？

先程もお話ししましたが、ソフトテニスです。元々スポーツの才能は有りませんでした、負けず嫌いな性格で、試合に負けたくないという一心で人よりたくさん練習に打ち込んだ記憶があります。そのおかげとってはなんです、怪我也多かったです。



——休日にリフレッシュできる趣味や、凝っていること、特技などありますか。

リフレッシュはお風呂です。毎回気分に合わせて入浴剤やアロマキャンドルを選んで、時間を気にせずだらだら入浴するのが好きです。趣味はバイクとダイビングです。筋トレも好きです。最近あまりできていませんが。凝っていること・特技とってはなんです、家事全般も好きです。掃除や料理は夢中になってしまうことが多く、寝る時間よりも優先してしまうことがあります。

——食事の仕事のパワーの源と思いますが、好きな食べ物、嫌いな食べ物を教えてください。

好きな食べ物はわらび餅、みつ葉、アボカド。嫌いな食べ物は特

に思いつきませんが、しいて言うなら燻製が強いものですかね…。

——最後に市民の皆さんへメッセージをお願いいたします。

私は整形外科医としてまだまだ未熟な身ではありますが、これからも困っている十和田の皆さま 1人1人に誠実に向きあっていきたいと思っております。改めてよろしくをお願いいたします。



所属学会：日本整形外科学会、東日本整形外科学会、骨折治療学会、日本肘関節学会
資格情報等：緩和ケア研修会修了